

平成22年度宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校  
適性検査の解答例について

宮崎県教育委員会

- 1 作文、適性検査Ⅱ（集団活動）は、課題の特性上解答例は提示しない。
- 2 適性検査Ⅰ（第1部）、（第2部）においては、児童の個性を生かす観点から課題に対する考え方や理由などの多様な思考・判断を大切にする。そのため、論述課題については解答例は提示しない。しかし、課題に対し答が特定できるものについては解答例を提示するものとした。それ以外（※）については採点の規準を示した。

【解答例】

《第1部》

課題1

問い1 [A] テレビ ※ 雑誌、専門誌等も可。順不同  
[B] 新聞

問い2

- ・ 国や地域名
- ・ 起こっている問題
- ・ 原因は何か。
- ・ 人々の生活がどのようにになっているか
- ・ どのような対策を講じればよいか。

問い3

写真ア	写真イ	写真ウ	写真エ	写真オ
5	6	3	4	2

問い4 [写真の番号] イ  
[理由] 他の写真は地球環境問題に関する内容の写真であるが、この写真は民族（部族）紛争に端を発するものの写真であるため、異質なものである。

問い5 [写真の番号] ア  
[理由] 住民の定住および食糧の増産、農畜産業の発展のための開発など。  
[解決方法] 開発地域の放棄をやめさせる。森林伐採後に植林をしっかりと行う。連作が可能な農法の指導と定着を図るなど。  
[写真の番号] イ  
[理由] 政治的対立や部族抗争などに端を発する、政府と軍事政権との対立と内戦。  
[解決方法] 国連の積極的な介入による治安回復と他国との協調路線、国全体の生活水準の向上。部族対立の緩和のための第三者の

仲介など。

[写真の番号] ウ

[理由] アラル海周辺の農業開発やカラクーム運河の建設のため、アラル海に注ぐ川（アムダリヤ川、シルダリヤ川）の水を取水したため。

[解決方法] 農業開発や運河のための取水の制限。農作物（綿花など）の栽培停止など。

[写真の番号] エ

[理由] 気候変動や地球温暖化、家畜の過放牧等。

[解決方法] 世界規模の CO<sup>2</sup> や特定フロンガス等の削減を行う。対象地域における過放牧・薪炭材の過伐採の禁止を行うなど。

[写真の番号] オ

[理由] CO<sup>2</sup> や特定フロンガスの増加に伴う地球温暖化の進行。

[解決方法] CO<sup>2</sup> や特定フロンガス等の削減・化石燃料の消費の抑制。京都議定書等、国際会議で規定された内容を遵守させるなど。

## 課題2

問い1

ア	イ	ウ	エ
30	27.5	21	54

問い2 [理由] ②から最高得点は33点以上。ウより最低得点は21点以下でないといけない。

問い3

カ	キ	ク
偶数	偶数	偶数

問い4

ケ	21
コ	(理由) ⑥から最高得点、最低得点のどちらかは奇数。奇数は21点しかない ので、21点が最低得点。
サ	34

## 課題3

問い1 [番号] ③

[理由] 小石の層（イの層）は水がしみこみやすいので、地下水がイの層の上からしみだすとは考えられないから。

[番号] ⑥

[理由] この時間に見えるオリオン座は、冬にしか見ることができないから。

問い2 [組み合わせたときの絵]



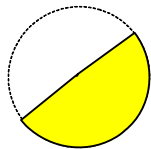
[そのように組み合わせた理由]

ものを燃やし続けるには、空気が入れかわって、新しい空気が流れこむ必要があるから。

問い3 月は、はるか遠くにあるからそのように見える。この場合、近くの風景が後ろに走り去って見えるので、止まっているはずの遠くの月が追っかけて来る様に見える。など

- 問い4
- ・ 夏の大三角を形作る3つの星は、周りの星と比べて明るく見えるということ。(はくちょう座のデネブや、わし座のアルタイル、こと座のベガを手がかりにする)
  - ・ 夜空を真上に見上げたあたりに見られるということ。(方角を手がかりにする)
  - ・ 天の川が近くを流れているということ。(天の川を手がかりにする)

問い5 [午後11時の月のスケッチ]



[あなたの考え]

- ・ 南西の方角にあった月が、西の方角の低い位置に見える。
- ・ 明るい部分の形は午後9時に見たときと変わらないが、右図のようにやや右に傾いて見える。
- ・ 地面からの高さが低くなっている。

《第2部》

**課題1**

問い1 アメリカやフランスは100%以上の自給率がある。それに比べて日本は年々減少しており、2003年には約40%しかなく、約60%を外国からの輸入に頼っている。

問い2 天丼やカレーライスの原料となる米などの自給率は高いが、ラーメンやスパゲッティの原料となる小麦などの自給率は大変低いから。

問い3	賛成	外国産の米は、日本の米に比べ値段が安いことが予想されるため私たちは今よりやすい米を買うことができる。
	反対	日本で作っている米の売り上げが下がると、日本の農家の生活が大変になる。食の安全性に不安がある。

問い4 岩手県はピーマンの価格が200円ぐらいの8～9月に生産しているのに対し、宮崎県はピーマンの価格が高い冬の12月～3月ぐらいに生産しているため、多くの収益を上げることができる。

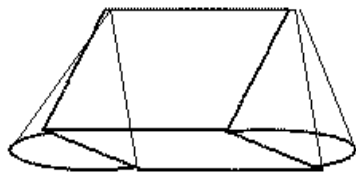
### 課題2

問い1 (ウ)

問い2 3分45秒

問い3 円柱

問い4



### 課題3

問い1 およそ 25 分くらい

問い2 [分かったこと]

このろうそくは、一定の早さ(1分間に約0.07gずつ)で軽くなっていることが分かる。

[考えたこと]

- ・ このあとも、一定の早さで軽くなっていくことが予想される。
- ・ 軽くなった理由は、ろうがとけて、空気中へ出ていったからではないかと考えられる。

問い3 およそ 4.00 g

問い4 [分かったこと]

実験3では、実験2のときよりも重さの変化がはやくなり、より早く減っていくことが分かる。(実験3では1分間に約0.23g、実験2では1分間に約0.21g変化する。)

[ 考えたこと ]

- 実験3では、炎が大きくなったことで、ろうが気体になり、空気中へ出ていく勢い（はやさ）が強まったからではないかと考えられる。
- ろうそくのしんの数が増えた分だけ炎が大きくなり、ろうがはやくとけたと考えられる。